

SCHOOL! YELL!! エール

Vol.5

ゼロから広がったボランティア精神!

鹿屋中央高校 インターアクト部



▲美化清掃活動として、ウミガメの産卵地である砂浜を清掃の様子

インターアクト部は、1年生8人、2年生6人、3年生10人の計24人で主に地域ボランティア活動や国際交流等の活動をしています。実は、私が入学時の部員は0人。軽い気持ちで入部しましたが、徐々に部員は増えて活動の幅が広がり、昨年は韓国に行つて、釜山国際高校と交流するなども行いました。特定の分野だけでなく多種多様な人と交流し、学べることも特長の一つです。

「奉仕」の精神で活動していますが、仲間や経験、コミュニケーション能力など多くのことを「与えてもらえる」部活です。



部長
田代 菜花 さん(3年生)

公民 地理 歴史 文化 文化財 まちづくり 人物 その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第5路 鹿屋市で密かに 継承された仏教

鹿屋市には願正寺(向江町)や浄福寺(花岡町)、正念寺(吾平町上名)など20以上の仏教の寺院があります。明治初期に始まった廃仏毀釈の際には、一部の寺院も攻撃や破壊の対象とされ、寺院の他にも地元民に親しまれていた仏像なども同様の被害を受けました。そのような中、地元民の工夫によって難を逃れ、継承されてきた史物があります。「仁王像」と「小型阿弥陀如来尊像」です。

仁王像とは、金剛力士像のことで、口を開き怒りの表情をした阿形と口を閉じて怒りを内に秘めている吽形のことです。共に上半身裸形で筋骨隆々としており、寺院の門等に2体で安置されることが多いです。

輝北町市成にも歴史ある仁王像があります。登見の丘の麓にある高さ約2mの一对の仁王で、昔から風邪(百日咳)を治す仁王として親しまれ、病が治ると火吹き竹を供えられてきました。

市成が島津家支流の敷根氏の所領であったころ、菩提寺の法

城山両足寺の山門に捉えられた像で、今から約600年前の室町時代に作られたと言われています。廃仏毀釈の際には、地中に埋めて難を逃れ、現在の管理者の祖父・吉水治左衛門によって掘り起こされました。現在は市成の正覚寺の近くに安置されています。

花岡町花岡山浄福寺にある小型阿弥陀如来尊像も同様に廃仏毀釈を人の手によって逃れました。阿弥陀像は極めて小さく、0.9cmほどの大きさです。これは花岡島津家六代久誠の妻である時子が懐に密かに所持し、夫婦ともに礼拝していたといわれています。

阿弥陀像、仁王像はいずれも鹿屋市指定有形文化財に指定されています。



▲市成の高さ約2mの仁王像(左)と花岡の0.9cmほどの小型阿弥陀如来尊像(右)。